

資料2 国軍主要名簿

	1998年6月末	1999年1月末	1999年11月末
国軍最高司令官	B.J. Habibie大統領	同左	Abdurrahman Wahid大統領
国軍司令官	Wiranto大将	同左	Widodo A. S.海軍大将
国軍副司令官 <sup>1</sup>	—	—	Fachrul Razi中将
国家安定強化支援調整庁長官	B.J. Habibie大統領	同左	Abdurrahman Wahid大統領
国軍参謀本部			
総務担当参謀長	Fachrul Razi中将	Soegiono中将	Suaidi Marasabessy少将
作戦担当補佐官	Johny Lumintang少将	Endriartono Sutarto少将	Adam Damiri少将
領土担当補佐官	Sjafrie Sjamsoeddin少将	Djoko Mulono少将	同左
情報担当補佐官	Yuswaji海軍少将	Joost F. Mengko海軍少将	同左
総合計画担当補佐官	Agus Widjojo少将	Agus Wirahadikusumah少将	Poerwadi少将
領域担当参謀長 <sup>2</sup>	S. Bambang Yudhoyono中将	同左	Agus Widjojo中将
領域担当補佐官	未定	Sudi Silalahi少将	Yahya Kartawirya少将
中央執行機関			
国軍防衛研究所(Lemhannas)	Agum Gemelar中将	同左	Johny Lumintang中将
国軍戦略情報庁(BAIS)長官 <sup>3</sup>	Zacky Arwar Makartm少将	Tyasno Sudarto少将	同左(中将に昇格)
国軍指揮・幕僚学校(Sesko TNI)	Prabowo Subianto中将	Agus Widjojo中将	Endriartono Sutarto少将
国軍士官学校(Akabri)	Achmad Sutjipto海軍中将	Abu Hanifah海軍中将	同左
各軍参謀本部			
陸軍参謀総長	Subagyo H. S.大将	同左	Tyasno Sudarto中将
副参謀長	Soegiono中将	Johny Lumintang中将	Djamari Chanlago少将
海軍参謀長	Widodo A. S.海軍中将	同左(大将に昇格)	Achmad Sutjipto海軍中将
副参謀長	未定	Achmad Sutjipto海軍中将	未定
空軍参謀長	Hanafie Asnan空軍中将	同左(大将に昇格)	同左
副参謀長	未定	I. Gede Sudhana空軍中将	同左
警察軍司令官 <sup>4</sup>	Roesmanhadi警察中将	同左	同左
副長官	未定	Nana Permana警察中将	同左
陸軍戦給予備軍(Kostrad)司令官	Djamari Chanlago中将	同左	Djaja Suparman少将
陸軍特殊部隊(Kopassus)司令官	Shahrir M. S.少将	同左	同左
陸軍軍管区(Kodam) <sup>5</sup>			
1.アチェ・北スマトラ	Ismed Yuzairi少将	Rachman Gaffar少将	Affandi少将
2.南スマトラ	Suadi Atma少将	Affandi少将	Soetardjo少将
3.西ジャワ	Poerwadi少将	同左	Slamet Supriadi少将
4.中ジャワ	Tyasno Sudarto少将	Bibit Waluyo少将	同左
5.東ジャワ	Djoko Subroto少将	Ryamizard Ryacudu少将	Sudi Silalahi少将
6.カリマンタン	Sang Nyoman Suwisma少将	Zainuri Hasyim少将	同左
7.スラウェシ	Suaidi Marasabessy少将	同左	Agus Wirahadikusumah少将
8.イリアン・ジャヤ	Amir Sembiring少将	同左	Albert Inkirwang准将
9.ヌサ・トゥンガラ	Adam Damiri少将	同左	Kiki Syahnakri少将
10.ジャカルタ	Djaja Suparman少将	同左	Ryamizard Ryacudu少将
16.マルク <sup>6</sup>	—	—	Max Tamaela准将

\*階級に所属を明記していないものは、すべて陸軍所属。

- (注) 1.1983年のスドモ海軍大将を最後に、ムルグニ国軍司令官時代以降任命のなかった国軍副司令官が、1999年7月17日付で任命された。  
 2.1998年12月、「社会・政治機能担当参謀長」は「領域担当参謀長」に名称が変更された。  
 3.1999年7月に国軍情報庁(BIA)から拡大改組された。  
 4.1999年4月1日に、警察軍は国軍機構から分離された。  
 5.1999年5月7日、陸軍軍管区再編5年計画が発表された。1.アチェ(イスカンダル・ムダ)、2.北スマトラ(ブキット・バリサン)、3.西スマトラ・リアウ・ジャンピ(イマム・ボンジョル)、4.南スマトラ・ランボン・ベンクル(スリウィジャヤ)、5.ジャカルタ(ジャヤ)、6.西ジャワ(シリワンギ)、7.中ジャワ・ジョグジャカルタ(ディボネゴロ)、8.東ジャワ(ブラウィジャヤ)、9.西カリマンタン(タンジュンブラ)、10.中・南カリマンタン(ランブン・マンクラット)、11.東カリマンタン(ムラワルマン)、12.北・中スラウェシ(サム・ラトゥランギ)、13.南・南東スラウェシ(ハサヌディン)、14.バリ・西ヌサトゥンガラ(ウダヤナ)、15.東ヌサトゥンガラ・東ティモール(ヌサトゥンガラ)、16.マルク(パッティムラ)、17.イリアン・ジャヤ(トゥリコラ)。以上のうち、第3~8軍管区は少将、それ以外は准将が司令官となる。  
 6.1999年5月15日付で、トゥリコラ軍管区(マルク・イリアンジャヤ)から分割された。  
 (出所) The Jakarta Post, Kompasなどから川村作成。